

新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン

企業名：株式会社ナチュラルブルー

業種：観光・潜水サービス業

代表者名：星原貴保

1. 基本チェックリスト

- 従業員の就業前の体温測定、体調の自己申告
- 従業員の手指消毒の徹底
- 従業員のマスクの着用
- 入り口及び施設内に消毒設備の完備
- 入店者に対するマスク着用、消毒のお願いの周知
- 参加者に対し、当日の体調の確認

2. 基本的な感染拡大予防策

(1) 感染拡大防止のためツアー参加者整理の方法

- ・密にならないための対策
読谷店ではなく、真栄田岬店（オープンスペース、現地解散）での案内
混雑しないように、グループ数、人数制限を実施
参加者が並ぶ際、ツアー参加時は、ある程度の間隔をあけてもらうよう案内（掲示）
- ・発熱等の症状のある方への対策
発熱や咳、味覚や嗅覚に違和感がある方については、原則として入店やツアー参加をお断りする
- ・その他
予約での来店や、混雑時間での参加を避けて頂くことを推奨する内容の表示（HP、SNS）
入店前に当日の体調、チェック項目の確認
店内に体温計を設置し、必要に応じて計測するよう協力を求める
入店者に対するマスク着用の周知（マスクがない場合は、購入して頂くよう案内）
入店者に対する靴の消毒の周知

(2) 対人距離の確保の方法

- ・接触感染対策
休憩場所やクラスルームなど席は対面にならないよう配置 隣同士の感覚も可能な限り広くする
申し込み用紙は予約時に事前に記入し、持参して頂くよう案内
他人と共有する物品は可能な限り少なくし、使用後は消毒を行う
- ・飛沫感染対策
カウンターなどで対面になる場合は、透明のビニールカーテンで遮蔽する
ブリーフィングなどの案内は距離を置き、マスク着用の上行う

(3) 施設の換気対策

常時、窓は2ヶ所以上開けておく
基本的には換気の良い屋外にて対応

(4) 施設・設備・物品等の消毒対策

複数の人が触れる場所は、適宜消毒を行う。
テーブル、カウンター、トイレ、シャワー、更衣室、送迎車などの高頻度に触れる箇所は、特に注意し消毒を行う。入退室前後に手指消毒液を設置し、消毒を促す。

テーブルやイス等、不特定多数が触れる環境表面の消毒に努める。

器材に関しては、レンタル器材のうち、直接口をつける部分（マスク、スノーケル、レギュレーター、BC、オクトパスなどの各マウスピース部分）は、お客様が使用するたびに家庭用洗剤（次亜塩素酸ナトリウムなど）を用いて洗浄・消毒液に5分以上つけ置きをしたものを乾燥させて使用することを心がけるまたは、ご自身の器材の使用やマウスピースを購入して頂くことを推奨する

店舗全体での消毒は2時間おきに行う

(5) その他 予防策

トイレの使用後は、蓋を閉めてから汚物を流すよう案内（掲示）
マスクや手袋の使用後は、必ず石鹸と流水で手洗いを行ってからアルコール消毒をする
ユニフォームはこまめに洗濯をする
従業員、参加者を含め、こまめに水分を摂取するよう案内

3. 独自の感染拡大予防策

- ・ ツアーについて
説明時はマスクやフェイスガード等を着用の上、適切な距離を取り説明を行う
水中は感染リスクが低いため（DANJAPAN 参照）適切な説明をした上で速やかに水中に入るように配慮する
水面陸上では距離を取るが有事の際に手が届く範囲での案内を行う
水面ではマスクシュノーケルレギュレーターをくわえた状態での案内を行う
飛沫感染を避けるよう心掛け、ガイド内容や魚の図鑑等の水中スレートを使用し案内を行う
- ・ タンク充填について
エアコンプレッサー充填エリアを清潔に保つ
充填作業前には手洗いを徹底する
充填作業員はマスクと手袋を着用
- ・ ファーストエイドについて
直接接触がないようにポケットマスク、手袋を配備
ファーストエイドでマウストゥマウスは行わない
アンビューバックによる酸素と併合して行う
- ・ 託児について
咳、鼻水、慢性鼻炎症状が出ている場合は、原則として入店、託児をお断りする
当日、熱が37.5度以上の場合は、託児をお断りする
マスクを託児中に着用できるお子様、3歳以上のお子様から託児可能とする

4. 感染者が発生した場合の対処（保健所からの通知・本人からの通告）

感染拡大の恐れがあるため速やかに休業を行ない、保健所と対応にあたる。

- ・ 即時に保健所へ報告。（求められる情報の速やかな開示）
- ・ 保健所の指示に従ったうえで、早い段階で休業を決定し、関係者への周知の徹底。
- ・ 自社内だけでなく行政に対する関連者リスト提出を求められる場合を想定し顧客情報の保管